

■殺虫剤：農業用

ピレスロイド系

トレボン[®] エアー

登録番号：17541

毒性：－

消防法：－

有効年限：3年

成分 エトフェンブロックス……10.0%

物理的・化学的性状 類白色粘稠乳濁液体

包装：10ℓ×2

◆特長

- 接触毒、食毒による作用で、諸害虫に優れた効果を示します。
- 効果の持続性に優れています。
- 有機リン系、カーバメート系殺虫剤に感受性の低下した害虫にも安定した効果を示します。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	エトフェンブロックスを 含む農業の総使用回数
稲	コブノメイガ イナゴ類 ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ	30倍	3ℓ/10a	収穫14日前 まで	3回 以内	空中散布	3回以内
	イナゴ類 ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ						
	コブノメイガ イナゴ類 ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ フタオビコヤガ	8倍	0.8ℓ/10a		2回 以内	無人ヘリコプター による散布	2回以内
	小 麦						
だ い ず	ハスモンヨトウ カメムシ類	1.6ℓ/10a	収穫7日前 まで	3回 以内	3回以内		
あ ず き	アズキノメイガ						
し ょ う が	アワノメイガ	3.2ℓ/10a	収穫14日前 まで	3回 以内	3回以内		
やまのいも	ヤマノイモコガ アブラムシ類						

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。

- (2) 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
- (3) 少量散布の際には、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
- (4) 無人ヘリコプターによる散布にあつては、散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
- (5) 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- (6) 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- (7) 蚕に対して長期間強い毒性があるので、薬液の飛散により桑の茎葉を汚染することのないよう桑園のある地帯では使用しないこと。なお、実施にあたっては、事前に蚕業関係者と安全対策について十分協議すること。
- (8) 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別すること。
- (9) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ① ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ② 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (10) 作業終了後は次の事項を守ること。
 - ① 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - ② 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- (11) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、病虫害防除所等関係機関の指導を受けること。
- (12) 取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1) 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 無人ヘリコプターの操作の際は、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがい・洗眼すること。

◆魚毒性

- (1) 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池等周辺での使用は避けること。なお、比較的low濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので十分注意すること。
- (2) 空中散布又は無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- (3) 散布後は水管理に注意すること。
- (4) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。